



トラスト14号地（三芳町）



NPO 法人エコ・エコの活動 斜面林とその周辺の保全

見沼たんぼは東京から20～30km圏に位置し、南北は約14km、外周は約44km、面積はさいたま市1,203.6ha、川口市58.1ha合計約1,261.7haの大規模な緑地空間です。見沼たんぼの洪積台地には斜面に沿って線状に雑木林が連なっており、見沼の斜面林として知られています。斜面林は貴重な動植物の生息生育環境を提供すると共に、周辺農家の住宅地の環境を調整し、見沼代用水と水田と三位一体でその景観が出来上がりました。さいたま緑のトラスト保全第1号地（愛称：見沼龍の森）はその中にあります。斜面林の主要な構成樹種としてはシラカシ、コナラ、クヌギ、アカシデ、イヌシデ、ムクノキなどが見られ関東地方の雑木林の景観を残しています(1)。

斜面林では、多様な生物が生息する豊かな生態系が保持されています。キンラン、ギンラン、シュンラン、イカリソウなど貴重な植物が生育しています。NPO 法人エコ・エコがさいたま市の南部領辻周辺で調査したところ優占種としてやはり照葉樹のシラカシがあげられました(1)。照葉樹林は関東地方以南の平地における極相であり、ドングリ等の種子が多く得られ、下草や低木も多く森林の階層構造が発達し、生物の多様性が維持され森になります。洪積台地の崖を縁取るように位置するため、緑の回廊としての景観を心地よくする効果も併せ持つことになったのです(2)。さいたま市の誇るべき景



観です。

三位一体の中でトラスト地は斜面林にあたります。この隣地でシラカシの大木にオオタカが営巣しています。ここ5年に渡りこの周辺でヒナを孵（かえ）しています。3月に産卵し6月半ばには巣立っています。繁殖期には巣の周辺が活動範囲ですが、非繁殖期には1700haが行動範囲となるそうです(3)。代用水を挟んで、トラスト地の西側でNPO 法人エコ・エコが保全している場所は昔水田でした。現在はヨシ原と草地となり小さく掘った池ではオオタカの水浴びと食痕が観察されています。また、ここではヨシを焼かずに生物多様性のシンボルとして約20メートルのヨシと竹で組み上げた龍神「マルコ」を製作・展示しています。生態系を保護するためにはトラスト地だけではなく周辺の保全も大切であることが示唆されます。多くの人々がそれに気づいてくれることを望みます。



- (1)さいたま市緑区南部領辻見沼ベルダ地区と上野田斜面林植物調査結果 NPO 法人エコ・エコ
- (2) <<https://ja.wikipedia.org/wiki/斜面林>>
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%96%9C%E9%9D%A2%E6%9E%97>
- (3) <https://www.ffpri.affrc.go.jp/labs/kouho/Press-release/2006/otaka070301.html>

NPO 法人エコ・エコ 代表理事 加倉井 憲一
(緑のトラスト保全第1号地 ボランティアスタッフ)

イベントのお知らせ

会員の集い

11月11日(土)

場所 埼玉会館 2F ラウンジ
(さいたま市浦和区高砂3-1-4
JR浦和駅西口から徒歩6分)



会員の集い ▶ **協会員 無料**
交流会 ▶ 1人 500円

申込 締切11/2 (木) までに、電話で協会事務局までお申込みください。

- ▶ 9:50~10:50
講義「県内の外来植物の実態」
副理事長 牧野 彰吾
(NPO 法人埼玉県絶滅危惧植物種調査団代表理事)
- ▶ 11:00~12:00
講義「SDGs と保全地活動」
トラスト 13 号地代表 安田 信一
(NACS-J 自然観察指導員・NEAL リーダー)
- ▶ 13:40~15:10
講話「(仮題) 持続可能な社会での森の役割」
理事長 太田 猛彦 (東京大学名誉教授)
- ▶ 15:50~16:50
交流会
(軽食とお茶を用意してます)

トラスト地の自然素材を使った 大人のクラフト体験教室

クリスマスリース 11月15日(水)
9時30分~11時30分

竹細工 11月29日(水)
9時30分~12時

場所 埼玉教育会館 103号室
さいたま市浦和区高砂 3-12-24



協会員 各 100円
一般 クリスマスリース 800円
竹細工 500円

各教室10人申込順 締切11/8(水)

対象 15歳以上



トラスト7号地 トラスト7号地と 綾瀬川周辺の冬鳥を探そう

11月26日(日) 9時~12時
(雨天中止)

集合場所 下記の2つから選択

- ① JR宇都宮線「蓮田駅」東口 8時30分
 - ② 小川原家屋敷林(トラスト7号地) 9時
- ①は徒歩で②まで移動します。(徒歩約20~25分)
※周遊後は、アーバンみらい公園で解散します。

協会員 無料 一般 300円

20人申込順 締切11/21(火)

- ▶ カモ類をはじめ、大陸から日本に渡ってきた冬鳥が見られます。



トラスト1号地 竹の伐採体験

12月2日(土) 9時~12時
(雨天中止)

無料

集合場所 見沼田圃周辺斜面林(トラスト1号地)
あずまや

20人申込順 締切11/28(火)

- ▶ 伐採した竹は持ち帰り可能です。また、竹を使った道具作りも体験できます。



ミニ門松作り

12月17日(日) 10時~12時

集合場所 サンアメニティ北本キャンプフィールド
(北本市野外活動センター)

協会員 100円 一般 300円

20人申込順 締切12/12(火)

対象 小学校5年生以上
(小学生は保護者同伴)

- ▶ 竹林の見学後に、ご自宅で飾れるミニ門松を作ります。
- ▶ 上記参加費とは別に、ミニ門松1基につき 500円でお持ち帰り出来ます。



【対象】 イベントごとにご確認願います。小学生以下の参加は保護者が同伴してください。

【持ち物・服装】 < 共通 > 筆記用具、水筒、長袖、長ズボン、活動しやすい服装・靴で御参加ください。

< 自然・野鳥観察会 > 双眼鏡、図鑑などの観察用具、雨具、帽子

< 保全活動 > 軍手、作業靴、帽子 < クラフト工作 > 軍手

【申込】 トラスト協会事務局まで Web 又はお電話にてお申し込みください。

申し込みはこちら

各イベント等の詳しい説明は、
ホームページをご覧ください。



心地好い 秋の無線山



ミミ門松



タケノコ掘り



コムラサキシキブ



コンズイ



夜間撮影
キツネ



モミジ

13号地代表 安田 信一

また、トラスト13号地の魅力を伝えるために、自然観察会やクワフト教室、保全体験などのイベントを開催し、年間五百名以上の方に参加とご協力をお願いしております。
是非一度観に来てみませんか。お待ちしております。

私たちボランティアスタッフは、この豊かな自然環境を次世代へ残すための保全活動を月二回の活動日に、年間延べ五百名以上の方の協力で行っております。
このような多種多様な環境の中に「カシノナガキクイムシ」によるナラ枯れ被害や「クヒアカツヤカミキリ」による桜の被害など異変が起きています。

また、紅葉が始まり、散策路から観る景色は一変します。イロハモミジ、カエデや草木も色つきエノキ・コンズイ・ムラサキシキブの実は鳥の餌になるので、沢山の渡り鳥が訪れます。

トラスト13号地は伊奈町小室地区に残された緑地で、県立ガンセンターと日本薬科大学の間に位置した約五ヘクタールの雑木林です。
秋は実りの季節で沢山のコナラ・クヌギ・シラカシのドングリやクリ・キウイフルーツとキノコなどの収穫が出来ます。

トラスト

昆虫

15

バッタ目バッタ科

ショウリョウバッタ (Acrida cinerea)



ツツミ 塘 久夫

5号地ボランティアスタッフ。小さい時から昆虫好きで野山を駆け回っていました。今は小さい子供たちと一緒にトラスト地で昆虫を追いかけしています。

秋はバッタの仲間が増える季節ですね。田んぼの回りではイナゴが増え、草むらでは夜には様々なコオロギの鳴き声が聞こえます。ショウリョウバッタも草むらでよく見かけるバッタです。名前の謂れは一説では8月旧盆の精霊祭の頃に姿を見せることに由来すると言われますが、実際にはこのバッタは6月頃から11月頃に見られます。バッタにしてはスリムな体形で斜め上に尖った頭も特徴的です。空を飛ぶときにはキチキチと音を立てることでキチキチバッタとも呼びます。だから草むらを歩いていて足元からバッタが飛び出しキチキチと音を立てたらそれはショウリョウバッタですよ。オスとメスの体の大きさが極端に違い、メスは時として10センチ近くにもなり日本最大のバッタとして知られています。身体の色は緑色のものと茶色のものがあります。また帯のような黒白の縞模様のあるものもいて、同じ種類なのに様々な姿形のものが見られなかなか面白いですね。身近に見られるバッタですので草むらの回りを探してみてください。きっと見つかりますよ。よく似た種類で後脚の短いショウリョウバッタモドキというバッタもありますが、こちらは埼玉県では準絶滅危惧種指定の珍しいバッタです。これを見かけたら“ラッキー”ですよ。

(塘 久夫)



ショウリョウバッタ褐色型♀



ショウリョウバッタ緑色型幼虫

第24回 さいたま緑のトラスト
写真・動画コンクール

令和5年
8/1-12/1

作品募集
賞金総額 30,000円
一等賞 10,000円
二等賞 5,000円
三等賞 3,000円

応募方法
1. 写真・動画の撮影
2. 作品の投稿
3. 審査
4. 発表

応募期間
8月1日(木)～12月1日(水)まで

応募資格
埼玉県在住の個人・法人・団体

応募方法
写真・動画は、Instagramからでも「#緑のトラストフォト2023」を付けて投稿すれば応募していただけます！

皆さまが次世代に残したいと思う緑豊かな自然を写真や動画を通じてシェアしませんか？

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0508/24trust.html>

第24回 さいたま緑のトラスト 写真・動画コンクール作品募集

埼玉県には、武蔵野の面影を残す雑木林や見沼田圃のような首都圏にあって潤いとゆとりのある空間が数多く残っています。県では、こうした優れた自然や貴重な歴史的環境を末永く保全し、次世代に残していくため、さいたま緑のトラスト運動を推進しています。

この運動をより多くの県民の皆さまに知っていただき、緑への理解と関心を深めるため、「第24回さいたま緑のトラスト写真・動画コンクール」を開催します。

写真は、Instagramからでも「#緑のトラストフォト2023」を付けて投稿すれば応募していただけます！

皆さまが次世代に残したいと思う緑豊かな自然を写真や動画を通じてシェアしませんか？

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0508/24trust.html>



ご報告

「自然素材で作って楽しむなつかしおもちゃ」体験会

令和5年8月20日(日)、トラスト8号地で採取した竹材等を活用したおもちゃ作成や遊び方を学ぶ体験会が、サンアメニティ北本キャンプフィールドで行われました。参加者は17名。トラスト8号地のボランティアスタッフの皆さんは材料の事前準備から、作り方や遊びかたの指導に大忙しでした。

数珠玉の腕輪やネックレス、ガリガリトンボ、真竹の水鉄砲や一輪挿し、孟宗竹のぼっくり等々。参加者は大人も子供たちも楽しんでいただけました。



ご報告

令和5年度刈払機安全衛生講習会開催

毎年恒例の「刈払機安全衛生講習会」を令和5年9月17日(日)にトラスト8号地で実施しました。講師は上野徳也氏(林業・木材製造業労働災害防止協会 技術師範)。各号地のボランティア代表から推薦された17名が参加されました。

前出協会から出版されている「刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育テキスト」を使用した座学と刈払機を使った実技の一日研修ですが、参加者全員に労働安全衛生法による特別教育修了証がわたされました。学ばれたことを基に、今後安全第一での保全活動を是非お願い致します。



さいたま緑のトラスト基金への大口寄附者
(10万円以上、令和5年6月から8月)

株式会社 中村工業所
株式会社 リプロ
ダイワ包材株式会社
石坂産業株式会社

株式会社 丸米
株式会社 マツナガ
他匿名希望1個人

[敬称略]



新しく会員になられた方々
(令和5年6月から8月)

【個人】13人 [敬称略]
【法人】
株式会社 リプロ
山下ゴム株式会社 [敬称略]



さいたま緑のトラスト協会への大口寄附者
(5万円以上、令和5年6月から8月)

KDDI株式会社 [敬称略]

<会員数(8月末現在)> 1,401人・団体



公益財団法人 さいたま緑のトラスト協会
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-12-9 埼玉県農林会館内
電話 ▶ 048(824)3661 ファックス ▶ 048(832)0292
ホームページ ▶ <http://www.saitama-greenerytrust.com>
メール ▶ main@saitama-greenerytrust.com
当協会に御寄附をいただいた方については、税額控除の特例を受けられます。
詳しくはHP又は税務署へお尋ねください。

会費年額

個人	大人	1人	1,500円
	小・中・高校生	1人	1,000円
	永年(一括納入)	1人	15,000円
家族		1家族	3,000円
法人		1口	10,000円



トラスト運動に御支援いただきありがとうございます。